

令和6年度「人間尊重の教育推進事業」
「さっぽろっ子自治的な活動」取組報告書

学校名 (パートナー校で取り組んだ場合は全ての学校名を記載します。)

【平和小学校】

(作成者 教員 子ども)

<p>1 大切にしたい項目</p> <p>※特に大切にしたい項目一つにチェックを付けてください。</p>	<p><input type="checkbox"/> P: ポジティブ～前向きな考えて</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> L: ラブ～互いを大切に</p> <p><input type="checkbox"/> U: ユニーク～個性を認め合い</p> <p><input type="checkbox"/> S: スマイル～笑顔あふれるさっぽろに</p>	
<p>2 取り組んだ学年・学級等</p>	<p>全学年</p>	
<p>3 取組内容</p>	<p>○取組の様子</p> <p>異学年の子どもたちとのふれあいを通して、<u>互いを大切する</u>思いやりを身に付け豊かな心を育てるために、ひまわり活動を実施。自分の役割に主体的・創造的に取り組み相手意識をもって活動を工夫する姿が見られた。</p> <p>全校行事である9月のひまわり遠足では、事前に5・6年生の児童全員が協力して、当日の遊びやめあての計画を立てた。</p> <p>遠足当日は計画に沿ってスタンプラリー、グループ遊びをして楽しんでいた。5・6年生の児童は遊びを進行するだけではなく、下級生を気遣って声かけをしていた。1～4年生の児童も、ただ参加するのではなく、学年の発達段階に応じて、遠足を楽しいものにするために何ができるのかを考え活動していた。みんなが目的意識をもって参加することで、お互いにとって楽しく、<u>たくさんの笑顔</u>が見られた。</p> <p>休み時間の異学年遊びでも、仲間を知る、仲良くなる、仲を深めるなどと節ごとにねらいをもたせ1年間を見通した活動ができるように実施した。初めの頃は同じ学年同士で多く関わる様子も見られたが、活動を重ねるにつれて互いに打ち解け合うことができた。また縦割りグループでクラスルームを作成し連絡を取り合うなど、<u>自治的に</u>活動をよりよいものにしようとする様子がたくさん見られた。</p>	
<p>4 取り組んでみて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり活動を継続して取り組むことで、上の学年が頑張る姿を下の学年が見て憧れをもち、その学年が進める立場になった時に、自主的・意欲的に取り組む動機となっている。 ・児童への指導、声掛けなど、高学年の学級担任と負担が他の教員よりも大きくなっているのが課題である。 	



